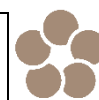




# 『こもろのひろば こぼれ話』



～郷土の事柄をわかりやすく紹介するコーナーです～

## 「小諸義塾創立～木村熊二と小山常治と図書館～」

こもろのひろば企画展示、1～2月は「小諸義塾とその人物」として明治26年（1893）に創立した私塾「小諸義塾」をテーマに紹介しました。義塾の創立に携わった木村熊二や、教師として小諸に来た島崎藤村などの義塾に関係した人物などを中心に展示を行いました。

この展示にあわせて、小諸図書館に遺されていた木村熊二直筆と思われる写真額の裏書を公開しました。展示にあわせて調査してわかった事をご紹介します。

木村熊二は弘化2年（1845）に但馬国出石藩（現兵庫県豊岡市出石町）で生まれ、江戸で漢学などを学び、明治維新後にアメリカの大学で学び宣教師試験を合格して帰国しました。帰国後は留学で学んだ事を活かして明治女学校の設立に携わり、明治25年（1892）に南佐久郡野沢村にキリスト教伝道の為に移住しました。

移住した翌年、熊二の許に小諸町の青年小山太郎が訪ねて来て、小諸町に小学校を卒業した後に勉強ができる義塾を設立して欲しいと頼まれました。その依頼を受けた熊二は小諸義塾を創立し、明治39年（1906）に閉塾するまで教鞭を執りました。

そんな熊二が大正13年（1924）に書いたと思われる写真額の裏書には「小山常治君が撮影した写真を図書館に掛ける」といった内容が書かれており、それが写真とともに小諸図書館に伝わっていたとされています。小山常治は小諸市柏木出身の人物で、写真技術に優れていて信濃写友会の会長を務め、撮影した浅間山の写真は絵ハガキとして遺されています。（今回の展示では古文書調査室より小山常治の絵ハガキをお借りして展示していました。）写真を通じて常治は熊二だけでなく藤村とも交流があったようです。

小諸図書館には普段お見せできないような貴重な資料が多く保存されています。今回のように普段は出せない資料も企画展示と併せて公開していきますので、ご来館の際には入口近くにある展示ケースを覗いてみてください。

小諸図書館には何十年も前の小諸の様子が見える資料が保存してあるんだね。昔の小諸の事が気になったら、図書館で調べてみてね♪



こもろのひろばキャラクター  
うめちゃん

### 【参考資料】

『青春小諸義塾』大川公一／著（信濃毎日新聞社 2018）

『私立小諸義塾沿革誌』林勇／著（小諸義塾沿革誌刊行会 1966）



「木村熊二による写真額裏書」

